

第3・4学年複式算数科学習指導案

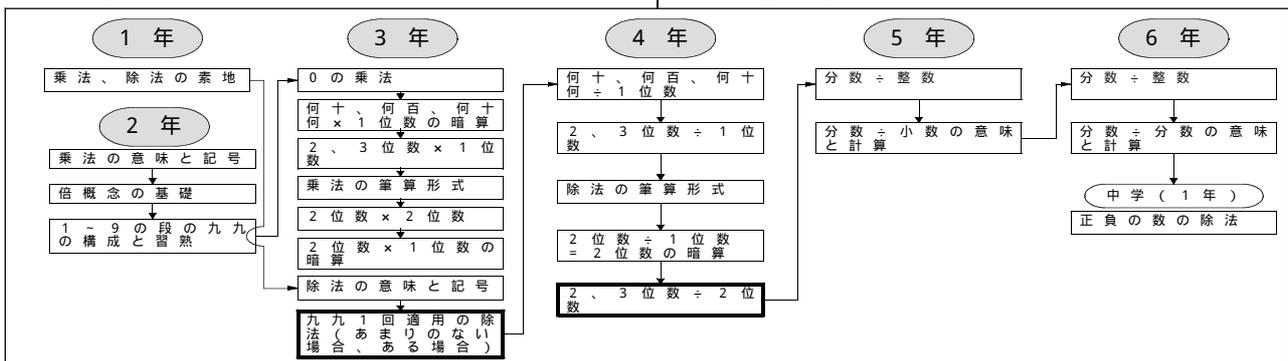
期 間 平成17年8月23日～9月15日
 児童数 3年 男子3名 女子1名
 4年 男子1名 女子3名 計8名
 授業者 花巻市立笹間第二小学校
 盛 合 修 二

3 学年

- 1 単元名 第3学年「あまりのあるわり算」
- 2 目標
 - 【関心・意欲・態度】
 - ・あまりのある除法計算を、あまりのない除法計算のときと同様に進んで問題解決に活用しようとする。
 - 【数学的な考え方】
 - ・既習の除法と関連付けて、あまりのある場合の除法でも乗法九九を使って答えが求められることを筋道立てて説明する。
 - 【表現・処理】
 - ・あまりのある除法計算ができ、答えの確かめをすることができる。
 - 【知識・理解】
 - ・「あまり」の意味、あまりと除数の大小関係、及びあまりのある除法計算のしかたを理解する。
- 3 関連と発展

4 学年

- 1 単元名 第4学年「わり算のひっ算(2)」
- 2 目標
 - 【関心・意欲・態度】
 - ・除数が2位数の除法計算のしかたを、既習の除法計算のしかたをもとに進んで考えようとする。
 - 【数学的な考え方】
 - ・見積もりをもとに、仮商の立て方や修正のしかたについて考える。
 - 【表現・処理】
 - ・除数が2位数の除法計算を正確に筆算ですることができる。
 - 【知識・理解】
 - ・除数が何十の除法計算のしかたを理解する。除数が2位数の除法の筆算のしかたを理解する。
- 3 関連と発展



- 4 単元について

児童は、かけ算九九を一回適用する、わりきれぬわり算の計算方法の学習をしてきている。生活の中で児童は、10個のあめを3人で分けるなど、割り切れずにあまりが出る場合を経験してきている。しかし、このあまりは分けた結果出たあまりであり、わり算の計算とは結びついていないと考えられる。

そこで、本単元では、分けたらあまりが出たときがあるという経験を、既習事項のわり算の意味と対比させ、それぞれのわり算を用いる場面でのあまりの意味と、その計算方法を理解させ、わり算の意味を拡張できるようにしたい。
- 5 学習指導計画(8時間)
 - 第1小単元 あまりのあるわり算 4時間
 - ・あまりのあるわり算の計算方法 (1)
 - ・あまりの意味 (1)
 - ・あまりと除数の関係 (1)
 - ・答えの確かめ方 (1)
 - 第2小単元 あまりのある問題 1時間
 - ・あまりの意味理解を深める (1)
 - 第3章単元 まとめ 3時間

- 4 単元について

児童はこれまでに、除数が1位数で商が2位数、3位数になる除法の計算方法を学習してきている。

本単元では、その発展として、除数が2位数の場合について学習する。除数の桁数が増えても計算を進めるときの考え方や手段は同じで、商を求めるときは「たてる」「かける」「ひく」「おろす」のアルゴリズムで計算する。しかし、除数が2位数になると、「たてる」の段階で仮商の修正が必要となり、難しさが増す。商の見当をつける時に、見通しをもたずに商をたてると修正回数が多くなる。できるだけ正しい商に近い仮商のたてかたと確実な修正のしかたを児童に理解させる指導が必要である。商の検討をつけたり修正したりすることは、はじめての経験なので理解しにくいことが考えられるので、習熟の時間を多くとるようにしたい。

また、除法の被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても商はかわらないという性質は、5年生で小数の除法の計算のしかたを考えたり、分数の計算のしかたを考えた

- ・「力をつけよう」 (1)
- ・「たしかめよう」、学習内容の評価 (2)

1 単元名 第3学年「大きい数のしくみ」
2 目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 千万の位までの大きな数に関心を持ち、進んで数を書いたり読んだりしようとする。

【数学的な考え方】

- ・ 千万の位までの数の表し方を、既習の一萬までの数のしくみ(十進位取り記数法)から類推して考える。

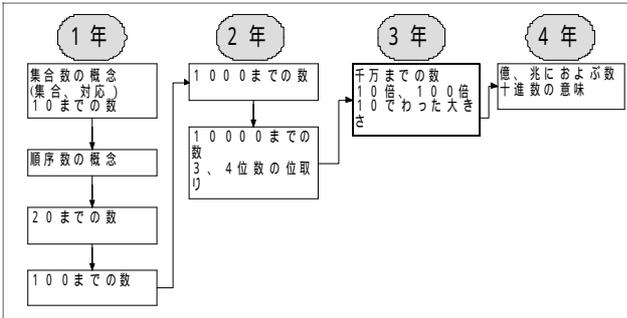
【表現・処理】

- ・ 千万の位までの数を読んだり書き表したりすることができる。

【知識・理解】

- ・ 千万の位までの数について、その表し方のしくみや数の系列、順序、大小などを理解する。

3 関連と発展



4 単元について

児童は、一萬までの数については、第2学年までに十進数の仕組みや位取り、命数法・記数法、数の系列、順序、大小などの基礎的なことを学習してきた。

この単元では、それらのことが数を千万の位まで拡張しても、同じように考えられることをとらえさせることが大切である。また、10倍、100倍、10でわった数などは、末尾の0のかずに着目させるだけではなく、児童の生活に身近なお金を使いながら理解を図るようにしたい。

この後、第4学年で、億、兆などの位を学習し、十進位取り記数法についての理解を深めていく。

5 学習指導計画(7)

第1小単元 数の表し方 3時間

- ・ 一萬の位までの数の読み方、書き方、構成について (1)
- ・ 十萬、百萬、千萬の数のしくみと千万までの読み方、書き方、構成について (1)
- ・ 数の相対的な大きさについて、数の系列、順序、大小について、式の相等の表し方について (1)

第2小単元 10倍した数と10でわった数 2時間

- ・ 整数を10倍した数の表し方について ... (1)
- ・ 整数を100倍した数、10でわった数の表し方 (1)

第3章単元 まとめ 2時間

- ・ 「たしかめよう」、学習内容の評価 (2)

りするときにも用いることのできる重要なものであるので関連を考えながら指導していきたい。

5 学習指導計画(15時間)

第1小単元 何十でわる計算 1時間

- ・ 何十でわる除法計算のしかた (1)

第2小単元 2けたの数でわる筆算 5時間

- ・ 2位数÷2位数(仮商修正無し)の筆算のしかた、わる数×商+あまり=わられる数の関係と除法の検算 (1)
- ・ 2位数÷2位数で過大商をたててときの仮商修正 (1)
- ・ 2位数÷1位数で過小商を立てたときの仮商修正 (1)
- ・ 除数を切り捨て、切り上げの両方による仮商修正のしかたを比較し、自分が考えやすい除数の処理のしかた (1)

第3小単元 2けたの数でわる筆算(2)...3時間

- ・ 3位数÷1位数=1位数の筆算のしかた (1)
- ・ 3位数÷1位数=2位数の筆算のしかた (2)
- ・ 商に0がたつ場合(商が何十)の簡便な筆算のしかた (1)

第4小単元 わり算のきまり 2時間

- ・ 除法について成り立つ性質 (1)
- ・ 末尾に0のある数の除法の簡便な計算のしかたと、あまりの求め方 (1)

第5小単元 まとめ 4時間

- ・ 「力をつけよう」 (1)
- ・ 「やってみよう」世界の国々のわり算の筆算のしかたを比べる活動 (1)
- ・ 「たしかめよう」、学習内容の評価 (2)

本指導案におけるチェンジスクラムとは、児童が自力解決で見つけた自分の考えを、確かめたり、解決できないときには協力して考えたりする活動で、二人以上で進める活動である。また、オールスクラムとは、学年全体でより良い考えを検討する活動である。本単元で使用した手引は15頁参照のこと。具体的評価規準は、十分満足できる(A)、おおむね満足できる(B)、支援を必要とする児童への手だて(C)である。

6 各時間の指導

第1時 / 15時

(1) 目標

・乗法九九を1回適用してできる除法で、あまりのある場合の計算方法を理解する。

(2) 主な具体の評価規準【関心・意欲・態度】

A...既習の考えを用いて様々な方法で考えようとしている。

B...わり切れない除法計算を半具体物、図などを使って考えようとしている。

C...半具体物を使い、3個ずつ分けるとあまりがあることに気付かせる。

(3) 展開

6 各時間の指導

第1時 / 15時

(1) 目標

・何十でわる計算のしかたを理解し、その計算をすることができる。

(2) 主な具体の評価規準【表現・処理】

A...除数・被除数とも10を単位として考えることができ、暗算できる。

B...除数・被除数とも10を単位として考えることができ計算することができる。

C...10を単位にまとめた色紙の束を分ける操作を行い、何十÷何十の計算のしかたを理解させる。

(3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
<ul style="list-style-type: none"> わり算の学習内容の確認と見通しをもつ。 	<p>わり算たんけんコースに取り組み既習内容の確認をする。</p> <p>3年 かけ算1回のわり算 4年 除数が1けたのひっ算</p>					<ul style="list-style-type: none"> わり算の学習内容の確認と見通しをもつ。
	<ul style="list-style-type: none"> 答え合わせをする。 1 問題を把握し立式する 	課題把握		課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 答え合わせをする。 1 問題を把握し立式する 	
	<p>ゼリーが14こあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。</p>				<p>色紙が60まいあります。この色紙を1人に20まいずつ分けると何人に分けられますか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 14 ÷ 3 2 学習課題を設定する 				<ul style="list-style-type: none"> 60 ÷ 20 2 学習課題を設定する 	
	<p>九九では、すぐに答えを見つけられないわり算の計算のしかたを考えよう。</p>				<p>何十÷何十の計算のしかたを考えよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 分かることができる人数を視点にする 一つの解決方法ではなく解決方法で取り組ませる。 教師が直接指導し、児童に手引を活用させ、わかり合う学習活動を進めさせる。 互いの考えの良さに気付かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 3 解決方法を見通す ・おはじき ・図 ・九九を使う 4 自力解決する ・自分で取り組む解決方法を決め自力解決に取り組む。(個別指導を入れる) 5 解決方法の検討をする 	見通し		見通し	<ul style="list-style-type: none"> 3 解決方法を見通す ・色紙(具体物) ・図 ・10のたばで考える。 ・20のまとまりで考える 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しができていればすぐに自力解決に進めさせる。 10のまとまりを視点にする 一つの解決方法ではなく複数の解決方法で取り組ませる。
	<p>オールスクラム 第1時では手引の活用を中心に指導し、チェンジスクラムを行わない。</p>	解決の検討		自力解決	<ul style="list-style-type: none"> 4 自力解決する ・自分で取り組む解決方法を決め自力解決に取り組む。(個別指導を入れる) 	
<ul style="list-style-type: none"> 数をもつ意味に気付かせ、次の時間の式の書き表し方につなげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 6 学習のまとめをする ・あまりの意味についてまとめる。 7 適用・発展問題に取り組む ・式の14、3、4、2はそれぞれ何を表しているか考える 	適用・発展		解決の検討	<ul style="list-style-type: none"> 5 解決方法の検討をする 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が直接指導し、児童に手引を活用させ、わかり合う学習活動を進めさせる。 互いの考えの良さに気付かせるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。 	適用・発展		適用・発展	<p>オールスクラム 第1時では手引の活用を中心に指導し、チェンジスクラムを行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6 学習のまとめをする 60 ÷ 20は6 ÷ 2と同じ商になります。 7 90 ÷ 20の計算のしかたを考える ・あまりについて考える。 8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。 	

第2時 / 15時

- (1) 目標
- ・乗法九九を1回適用してできる除法で、あまりのある場合の計算方法を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【数学的な考え方】
- A...既習の九九を使った計算方法をもとに、計算方法を考え、説明することができる。
- B...既習のわり切れる場合と結びつけ、九九を用いて考えている。
- C...同じ数ずつ分けることに注目させ、九九を用いて計算できることに気付かせる。

(3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態
<p>・教師が直接指導し、児童に手引を活用させ、かわり合う学習活動を進めさせる。</p>	1 学習課題の設定	課題把握	課題把握
	あまりのあるわり算の九九を使った計算のしかたを考えよう。		
	2 自力解決する	自力解決	自力解決
	・九九を使った計算方法を考える。 (個別指導を入れる)		
	3 解決方法の検討をする		
<p>・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。</p>	<p>チェンジスクラム</p> <p>オールスクラム</p>	解決の検討	自力解決
	4 学習のまとめをする		
	8 適用・発展問題に取り組む		
<p>・答え合わせをする。</p>	5 学習を振り返る	適用・発展	適用・発展
	・学習感想を書いて発表する。		

第2時 / 15時

- (1) 目標
- ・2位数 ÷ 2位数 (仮商修正なし) の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。
 - ・わる数 × 商 + あまり = わられる数の関係を理解し、除法の検算をすることができる。
- (2) 主な具体の評価規準【数学的な考え方】
- A...除数が被除数のいくつかが商になるという筆算のしくみを利用し、除数が2位数の場合も同じように考えることができる。
- B...除数が何十の場合の計算をもとにして、2位数 ÷ 2位数 (仮商修正なし) の筆算のしかたを考えている。
- C...1位数でわる筆算の方法、10のまとまりをもとに2位数で割る筆算の仕方を考えさせる。

(3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態
<p>・教師が直接指導し、児童に手引を活用させ、かわり合う学習活動を進めさせる。</p>	1 問題を把握し立式する	課題把握	課題把握
	色紙が87まいあります。この色紙を1人に21まいずつ分けると何人に分けられますか。		
	2 学習課題の設定	自力解決	自力解決
	何十何 ÷ 何十何の計算のしかたを考えよう。		
	3 解決方法を見通す		
<p>・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。</p>	<p>チェンジスクラム</p> <p>オールスクラム</p>	解決の検討	自力解決
	4 自力解決する		
	5 解決方法の検討をする		
<p>・答え合わせをする。</p>	6 学習のまとめをする	適用・発展	適用・発展
	7 87 ÷ 21の計算の検算をする。		
	8 適用・発展問題に取り組む	適用・発展	適用・発展
	9 学習を振り返る		
	・学習感想を書いて発表する。		

第3時 / 15時

- (1) 目標
- ・あまりと除数の関係を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【知識・理解】
- A...除数とあまりの関係をわり算の表から見付けて説明することができる。
- B...除数はあまりより大きくなることを理解している。
- C...半具体物を用いて、除数を変えながら計算させ、除数とあまりの関係を理解させる。
- (3) 展開

第3時 / 15時

- (1) 目標
- ・2位数÷2位数の筆算で、過大商を立てたときの仮商修正の意味と、そのしかたを理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
- A...筆算のしくみが十分理解できており、過大商を修正することができる。
- B...過大商を立てたときの仮商修正ができる。
- C...被除数・除数を何十のまとまりとみるように指導する。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 問題を把握し立式する	課題把握		課題把握	1 学習課題の設定	
	13このあめを、4こずつふるろに入れま す。何ふるろできて、何こあまりますか。				1 学習課題の設定	
	・教科書P67の挿絵から、 あまりと除数の関係を調 べる課題をたてる。	見通し		見通し	・86÷23を23を20と見 て筆算で計算してみる。	
	2 学習課題の設定				・商が大きいことに気付か せ課題を設定する。	
	わる数とあまりの大きさについて考えよう。	自力解決		自力解決	商が大きいときはどうすればいいか考えよう。	
	3 解決方法を見通す				3 解決方法を見通す	
・教師が直接指導し、児童に手引 を活用させ、かわり合う学習 活動を進めさせる。	・教科書P 67 のわり算の 表を使って考えていくこ とで見通しをもたせる。	解決の検討		自力解決	・商を小さくすることに気 付かせ、見通しをもたせ る。	・教師が直接指導し、児童に手引 を活用させ、かわり合う学習 活動を進めさせる。
	4 自力解決する				4 自力解決する。	
	5 解決の検討をする	適用・発展		解決の検討	・86÷23の筆算に取り組 み、表記方法についても 考えさせる。(個別指導)	
	チェンジスクラム				5 解決の検討をする	
	オールスクラム	適用・発展		適用・発展	チェンジスクラム	・両学年の感想を 聞き、今後の参 考にするととも に、共に学んだ 一体感をもたせ る。
	6 学習のまとめをする				6 学習のまとめをする	
	・あまりと除数の関係につ いてまとめる。	適用・発展		適用・発展	・過大商の場合の仮商修正 1回の筆算のしかたをま とめる。	
	7 適用・発展問題に取り 組む				・81÷12の筆算のしかたを 考える。	
	・計算練習をする。	適用・発展		適用・発展	・過大商の場合の仮商修正 2回の筆算のしかたをま とめる。	
	8 学習を振り返る				6 適用・発展問題に取り 組む	
・両学年の感想を 聞き、今後の参 考にするととも に、共に学んだ 一体感をもたせ る。	・答え合わせをする。				7 学習を振り返る	
	8 学習を振り返る				・学習感想を書いて発表す る。	
	・学習感想を書いて発表す る。					

第4時 / 15時

- (1) 目標
- ・あまりのある場合の除法計算について、答えの確かめ方を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
- A...あまりのある除法の答えは乗法九九とたし算を使うことに気付き、答えの確かめができる。
- B...あまりのある除法の答えを乗法九九、乗法を使って確かめることができる。
- C...半具体物を用いて、あまりはたすことに気付かせる。
- (3) 展開

第4時 / 15時

- (1) 目標
- ・2位数÷2位数の筆算で、過小商を立てたときの仮商修正のしかたを理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
- A...除数と被除数の数の大きさを見ながら、除数を四捨五入するなど、適切な商を立てて計算できる。
- B...除数の1の位を切り捨てて商を立て、商が小さすぎた場合は修正し計算できる。
- C...仮商から一つずつ大きくしたり、小さくしたりして修正を行うよう助言する。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の検算はかけ算を使うことを想起させる 	1 学習課題の設定 ・24 ÷ 6の答えの確かめを想起し取り組ませる。	課題把握		課題把握	1 学習課題の設定 ・78 ÷ 19の筆算を除数を20と見て、計算してみる。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算させることで過小商であることに気付かせ話し合いながら課題を設定させたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かかわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。 ・手引を活用させながらかかわり合う学習活動を行わせる。 				2 解決方法を見通す ・24 ÷ 6の答えの確かめ方から、あまりをどうするか予想させる (手引の活用指導)	
<ul style="list-style-type: none"> ・検算の方法をまとめた後、前時に行った練習問題の検算をさせ定着と有用性について感じさせたい。 	3 自力解決する ・23 ÷ 6の答えの確かめ方を考える。	自力解決		見通し	3 解決方法を見通す ・商を大きくすることに気付かせ、見通しをもたせる。(手引の活用指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かかわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導しながら学習内容の定着を図る。 				5 解決の検討をする	
<ul style="list-style-type: none"> ・検算の答えで間接指導時に確かめさせる。 ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。 	6 学習のまとめをする ・答えの確かめ方をまとめる。 ・検算の練習をする。	解決の検討		解決の検討	4 自力解決する ・78 ÷ 19の筆算のしかたを考え、表記方法についても考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・手引を活用させながらかかわり合う学習活動を行わせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・検算の答えで間接指導時に確かめさせる。 				7 適用・発展問題に取り組む ・計算練習し、答えの確かめをする。 (個別指導)	
<ul style="list-style-type: none"> ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。 	8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	適用・発展		適用・発展	5 解決の検討をする	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導しながら学習内容の定着を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・検算の答えで間接指導時に確かめさせる。 				8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	

- (1) 目標
・あまりのとらえ方について理解を深める。
- (2) 主な具体の評価規準【数学的な考え方】
A...場面をとらえて、商に1を加えた数が答えになることに気付き説明することができる。
B...商に1を加えた数が答えになることを考えることができる。
C...具体物、半具体物を実際に操作させ商に1を加えた数が答えになることに気付かせる。
- (3) 展開

- (1) 目標
・除数を切り捨て、切り上げの両方による仮商修正のしかたを比較し、自分が考えやすい除数の処理のしかたを考える。
- (2) 主な具体の評価規準【関心・意欲・態度】
A...除数を何十のまとまりとして、適切な仮商を予想しながら計算しようとしている。
B...仮商修正のしかたを比較し、自分が考えやすい仮商を考え計算しようとしている。
C...「ひけない」「1小さくする」「まだひける」「1大きくする」を意識させながら計算を進めさせる。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 問題を把握し立式する	課題把握		課題把握	1 学習課題の設定 ・87 ÷ 25の仮商のたてかたを考える。 ・20、30どちらにも仮称できることに気付かせる。	
	ボールが、1ダースと5こあります。このボールをぜんぶバッグに入れます。1つのバッグに3こずつ入れていくと、バッグはいくつありますか。				商のたてかたになれよう。	
・ダースの意味について触れる。	・17 ÷ 5 ・計算して答えを求める。			見通し	3 解決方法を見通す ・25を20とみるか、30とみるか、実際に計算してみることを知る (手引の活用指導)	・考えのまとめ方やかわり合う学習活動の視点時間などについて、手引の活用指導を行う。
	2 学習課題の設定 ・聞かれていることは答えではなく、バッグの数であることに気付かせ課題を設定する。			自力解決	4 自力解決する ・自分が仮商を立てやすい除数の処理のしかたを考える。	・手引を活用させながらかわり合う学習活動を行わせる。
	バッグはいくつあるか考えよう。			解決の検討	5 解決の検討をする	
・答えの見通しの後に、考えのまとめ方、かわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。	3 解決方法を見通す ・バッグの数に着目させて答えの見通しをする。 (手引の活用指導)	見通し			チェンジスクラム	
・手引を活用させながらかわり合う学習活動を行わせる。	4 自力解決する ・ボール、バッグを図に書いたり、計算でバッグの数を求める。	自力解決		適用・発展	オールスクラム	・どちらがいいということではなく、自分が計算をしやすい仮商でよいことをおさせる。
	5 解決の検討をする	解決の検討			6 学習のまとめをする ・自分が仮商を立てやすい除数の処理のしかたを発表し、どちらの仮商でも良いことを伝えまとめる	
	チェンジスクラム				7 適用・発展問題に取り組む ・教科書P9 ~ に取り組む。	・早く終わったらパソコンでプリントを印刷し取り組ませる。
・早く終わったらパソコンでプリントを印刷し取り組ませる。	6 学習のまとめをする ・計算の答えは5あまり2になるが、答えは商+1になることをまとめる。	適用・発展			・答え合わせをする。	
・両学年の感想を聞き、今後の参考にさせ、共に学んだ一体感をもたせる。	7 適用・発展問題に取り組む ・教科書P70 に取り組む	適用・発展			8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	・両学年の感想を聞き、今後の参考にさせ、共に学んだ一体感をもたせる。
	8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。					

第6時 / 15時

- (1) 目標
 ・学習内容を確実に身に付ける。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
 A...除法の性質を理解し、正確に問題を解くことができる。
 B...除法の性質を理解し、問題を解くことができる。
 C...ノートや教科書を参考にさせながら問題を解かせる。
- (3) 展開

第6時 / 15時

- (1) 目標
 ・3位数 ÷ 2位数 = 1位数の筆算の仮商の立て方を理解し、その計算をすることができる。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
 A...被除数が3桁でも仮商することができ、計算することができる。
 B...被除数が3桁でも、商の立つ位をまちがえずに計算できる。
 C... 10 のまとまりで分けることに気付かせ、商をどの位に立てるのか理解させる。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 学習課題の設定 ・「力をつけよう」に取り組む。	課題把握		課題把握	1 問題を把握する ・153 ÷ 24の筆算のしかたを考えていくことを把握する。 ・被除数が3位数であることから課題を設定する	
	あまりのあるわり算をもっとできるようになろう。				2 学習課題の設定	
・早く終わった児童はパソコンでプリントを印刷して取り組ませる。	2 自力解決する ・教科書P 71「力をつけよう」に取り組む。	自力解決		見通し	わられる数が3けたのひっ算のしかたを考えよう。	
	(個別指導)			自力解決	3 解決方法を見通す ・被除数の何の位に商をたてるのか着目させる。 (手引の活用指導)	・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。
	5 解決の検討をする ・答え合わせをする。	解決の検討		解決の検討	4 自力解決する ・153 ÷ 24の筆算に取り組む。(個別指導)	・手引を活用させながらかわり合う学習活動を行わせる。
	6 計算練習をする ・練習問題に取り組む。	適用・発展		適用・発展	5 解決の検討をする チェンジスクラム オールスクラム	
・パソコンでプリントを印刷し取り組み、自分で答え合わせをさせる。	(個別指導)				6 学習のまとめをする ・153 ÷ 24の筆算のしかたをまとめる。	
	・答え合わせをする。				7 適用・発展問題に取り組む ・計算練習をする。 (個別指導)	・パソコンでプリントを印刷し取り組み、自分で答え合わせをさせる。
・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。	8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。				8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。

第7時 / 15時

(1) 目標

- ・学習内容の理解を確認する。

(2) 主な具体の評価規準【表現・処理】

- A...除法の性質を理解し、正確に問題を解くことができる。
- B...除法の性質を理解し、問題を解くことができる。
- C...ノートや教科書を参考にさせながら問題を解かせる。

(3) 展開

第7時 / 15時

(1) 目標

- ・3位数÷2位数=2位数の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。

(2) 主な具体の評価規準【表現・処理】

- A...商が2位数になっても、商が1位数の場合と同じにできると考え、商を立てる位置に見通しをもちながら計算することができる。
- B...商が2位数になっても、1位数の場合と同じにできると考え、計算することができる。
- C...商が何の位から立つか気付かせ、既習の筆算と関連付けて考えてみるよう助言する。

(3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点	
<ul style="list-style-type: none"> ・問題の概要を把握させながら解決方法について確認する ・自力解決が早く終わった児童には練習問題に取り組みを指示しておく。 ・パソコンを使って練習問題を印刷し、取り組む ・答え合わせは個人で行う ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。 	1 「たしかめよう」に取り組みを確認する ・問題の概要を把握する 2 学習課題を設定する	課題把握		課題把握	色紙が345まいあります。この色紙を21人で同じ数ずつ分けると、1人ぶんは何まいになって、何まいあまりありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・10の束で分けることに着目させ、被除数の何の位に商をたてるかということから課題につなげる。 	
	あまりがあるわり算のしかたを確かめて、計算になれよう。				1 問題を把握し立式する ・ $345 \div 21$ ・筆算をやってみる。 ・商がたつ位に着目する。 2 学習課題を設定する		
	(個別指導)	3 自力解決する ・教科書P72の問題に取り組み	自力解決		見通し	十の位に商がたつわり算のひっ算のしかたを考えて話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> ・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。
		5 解決方法の検討をする ・答え合わせをする。				4 自力解決する ・ $345 \div 21$ の筆算に取り組む。(個別指導)	
		6 計算練習をする ・練習問題に取り組む。 ・答え合わせをする。				5 解決方法の検討をする チェンジスクラム オールスクラム	
	・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。	7 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	適用・発展		適用・発展	6 学習のまとめをする ・ $345 \div 21$ の筆算のしかたをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えのまとめを発表させよりよい計算方法を見付けるようにまとめさせる。 ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。
		7 $345 \div 21$ の筆算を確認しながら、もう一度取り組む。				7 345÷21の筆算を確認しながら、もう一度取り組む。	
	8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。				8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。		

第9時 / 15時

- (1) 目標
- ・一万の位までの数の読み方、書き方、構成を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【関心・意欲・態度】
- A...既習の位取りの考えを生かし一万までの数の構成を考えようとしている。
- B...束ごとに数えるよさに気づき数えようとしている。
- C...位取り表を用いて数えることで、数の構成について気付かせていく。
- (3) 展開

第9時 / 15時

- (1) 目標
- ・商に0がたつ場合（商が何十）の簡便な筆算のしかたを理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【知識・理解】
- A...除数が2位数で商が2位数の除数の計算で、商に0が立つ場合などは、アルゴリズムを省略して簡潔に計算できる。
- B...除数が2位数で商が2位数の除数の計算がアルゴリズムどおりにできる。
- C...既習の計算方法とおりに計算させ、計算が適切にできるよう助言する。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 学習課題の設定 ・絵を見て、入場券の枚数を数え、1万より大きい数に気づき課題設定する	課題把握		課題把握	1 問題を把握する ・ $941 \div 23$ を筆算で計算してみる。 2 学習課題の設定	・商の0を省略する方法を見付けることを把握させる
	10000より大きい数を調べよう。				商に0がたつひっ算を簡単にできるように話し合おう。	
・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かかわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。	3 解決方法を見通す ・24153の記数法・命数法を知る。 ・位取り表を使い分かりやすく表すことに着目させる。 (手引の活用指導)	見通し		見通し 自力解決	3 解決方法を見通す ・0を省略することに着目させる。(手引の活用指導) 4 自力解決する ・ $941 \div 23$ の筆算の簡単なしかたを考える。	・方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かかわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。
	4 自力解決する ・位取り表を使って数の構成、を考える。 5 解決の検討をする チェンジスクラム オールスクラム	自力解決 解決の検討		解決の検討	5 解決の検討をする チェンジスクラム オールスクラム 6 学習のまとめをする ・商に0がたつ場合、0を省略してひっ算を簡単にできることをまとめる。 ・ $960 \div 16$ の計算をして0の省略について確かめる。	
・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。	6 学習のまとめをする ・用語「一万の位」を知る。 ・記数法について、まとめる。			適用・発展	7 適用・発展問題に取り組む ・計算練習をする。	・0を省略して計算できるが、分かりにくい場合は0を書いてもいいことを確認する。 ・互いの答えを発表し合い、間接指導時に、答えの確かめをさせる。 ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。
	7 適用・発展問題に取り組む ・記数法、命数法の練習をする。	適用・発展		適用・発展	8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	

第10時 / 15時

- (1) 目標
- ・十万、百万、千万の数のしくみと千万の位までの読み方、書き方、構成を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【数学的な考え方】
- A...既習の10000までの数のしくみから類推して、一万～千万の数のしくみも10個分の関係になっていることをとらえている。
- B...一万～千万の数のしくみも10個分の関係になっていることをとらえている。
- C...位取り表を用いて数えることで、数の構成について気付かせていく。
- (3) 展開

第10時 / 15時

- (1) 目標
- ・除法について成り立つ性質を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【知識・理解】
- A...除数、被除数を10倍、10で割るという関係をが分かり、計算に生かすことができる。
- B...除法の性質を理解している。
- C...関係の表をノートにまとめ、表を見ながら練習問題を解かせる。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 学習課題の設定 ・一万を10こ集めた数を、「十万」といい「100000」と書くことを知り、課題を設定する。	課題把握		課題把握	1 学習課題の設定 ・商が4になる式を探しノートに書いて、黒板にみんなが見付けた式をまとめて書く。	・全員で協力して間接指導時に進めさせる。
	100000の数のしくみを考えよう。					
・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。	2 解決方法を見通す ・位取り表に着目させ、考える見通しをもつ。 (手引の活用指導)	見通し		見通し		
	4 自力解決する ・位取り表を使って数の構成を考える。	自力解決		見通し	商が4になるわり算のひみつを見つけよう。	
	5 解決の検討をする チェンジスクラム オールスクラム	解決の検討		見通し	2 解決方法を見通す ・わられる数を小さい順や大きい順に並べて考えることに着目させる。 (手引の活用指導)	・答え、方法の見通しの後に、考えのまとめ方、かわり合う学習活動の視点、時間などについて、手引の活用指導を行う。
	6 学習のまとめをする ・一万～千万の数はそれぞれ10個分の関係になっていることをまとめる。	解決の検討		自力解決	4 自力解決する ・除法の性質について考える。	
	7 適用・発展問題に取り組む ・P6の問題に取り組む。 ・答え合わせをする。	適用・発展		解決の検討	5 解決の検討をする チェンジスクラム オールスクラム	
・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。	8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	適用・発展		適用・発展	6 学習のまとめをする ・除法の性質をまとめる。 ・計算練習をする。	・互いの答えを発表し合い、間接指導時に、答えを確かめる。 ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。
					8 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	

第11時 / 15時

- (1) 目標
- ・ 十万、百万、千万の数のしくみと千万の位までの読み方、書き方、構成を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【数学的な考え方】
- A...既習の10000までの数のしくみから類推して、一万～千万の数のしくみも10 個分の関係になっていることをとらえている。
- B...一万～千万の数のしくみも10 個分の関係になっていることをとらえている。
- C...位取り表を用いて数えることで、数の構成について気付かせていく。
- (3) 展開

第11時 / 15時

- (1) 目標
- ・ 末尾に0のある数の除法の簡便な計算のしかたと、あまりの求め方を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
- A...除法の性質を利用して、除数・被除数の末尾の0を処理し、計算しようとしているとともに、余りの大きさにも着目し、余りの大きさと除数の関係に目を向けている。
- B...除法の性質を利用して、除数・被除数の末尾の0を処理し、計算しようとしている。
- C...10の束をもとに考えさせながら末尾0の処理の仕方を理解させる。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 学習課題を設定する				1 3200 ÷ 400を筆算で計算する	・ 0の表記が多く煩雑なことに気付かせる。
	14000は1000を何個集めた数か考えよう。			課題把握		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1000のまとまりで考えることを視点にする。 ・ 手引の活用について触れる。 	2 解決方法を見通す	見通し				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1000のまとまり ・ 14000を10000と4000に分けて考える。 	3 自力解決する	自力解決		2 学習課題を設定する	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1000のまとまりを視点にかかわり合う学習活動を行わせる。 	4 解決方法の検討をする	解決の検討		見通し	3200 ÷ 400の筆算のしかたを工夫しよう。	
	<p style="text-align: center;">チェンジスクラム</p> <p style="text-align: center;">オールスクラム</p>				3 解決方法を見通す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100のまとまりに着目させ、末尾の0を消すことに気付かせる ・ 手引の活用について触れる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一番小さいメモリは、1000のまとまりになっていることに気付かせながら指導する。 	5 学習のまとめをする			自力解決	4 自力解決する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末尾の0をどうするかを視点にかかわり合う学習活動を行わせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14000は1000を何個集めた数かまとめる。 ・ 教科書p6に取り組む 6 数直線について考える ・ 一番小さい目盛りがいくつになるか考え、数直線の読み方や数直線へ数の表す方法をまとめる。 ・ 練習問題に取り組む。 				<p style="text-align: center;">チェンジスクラム</p> <p style="text-align: center;">オールスクラム</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。 	7 「等号」「不等号」の用語と意味についてまとめる	適用・発展		解決の検討	5 解決方法の検討をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまりがある場合はどうするかを視点にかかわり合う学習活動を行わせる
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答え合わせをする 				<p style="text-align: center;">チェンジスクラム</p> <p style="text-align: center;">オールスクラム</p>	
	8 学習を振り返る			適用・発展	6 学習のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。
	学習感想を書いて発表する。				<ul style="list-style-type: none"> ・ 3200 ÷ 400の筆算の方法をまとめる。 ・ 2700 ÷ 400の筆算に取り組み、末尾に0のある数の除法のあまりの求め方を考える。 	
					<p style="text-align: center;">チェンジスクラム</p> <p style="text-align: center;">オールスクラム</p>	
					8 学習を振り返る	
					<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習感想を書いて発表する。 	

第12時 / 15時

- (1) 目標
 ・整数を10倍した数の表し方を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【知識・理解】
 A...10倍した数もとの数に0を1こつけた数になることに気づき、理解している。
 B...10倍した数もとの数に0を1こつけた数になることを理解している。
 C...束にする考えを半具体物を使って理解させ、10倍した数についての理解を図る。
- (3) 展開

第12時 / 15時

- (1) 目標
 ・学習内容を確実に身に付ける。
- (2) 主な具体の評価規準【表現・処理】
 A...除法の性質を理解し、正確に問題を解くことができる。
 B...除法の性質を理解し、問題を解くことができる。
 C...ノートや教科書を参考にさせながら問題を解かせる。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	1 学習課題の設定 ・20の10倍の数を考えることから課題を設定する。	課題把握		課題把握	1 「力をつけよう」に取り組むことを知る。 ・問題の概要を把握する 2 学習課題の設定	・問題の概要を把握させながら解決方法について確認する
	10倍するともとの数はいくつになるか考えよう				わり算の筆算のしかたを確かめて、計算になれよう。	
・見通せない児童には、お金で考えることに気付かせる。 ・手引の活用について触れる。	2 解決方法を見通す ・10倍の意味を確認する。 ・位取り表や、お金で考えることを見通す。	見通し		自力解決	3 自力解決する ・教科書P72の問題に取り組む (個別指導)	・自力解決が早く終わった児童には練習問題に取り組むことを指示しておく。
・自力解決させ、チェンジスクラム、オールスクラムと進めさせる。	3 自力解決する ・見通しをもとに自力解決をする。(個別指導) ・もとの数と10倍した数の位の並び方を比べてまとめる。	自力解決			4 解決方法の検討をする ・答え合わせをする。	
	4 解決方法の検討をする ・25の10倍はいくつになるか考える。 チェンジスクラム オールスクラム	解決の検討		解決の検討	5 計算練習をする ・練習問題に取り組む。 ・答え合わせをする。	・パソコンを使って練習問題を印刷し、取り組む ・答え合わせは個人で行う
	4 学習のまとめをする ・25の10倍の数確かめて、もとの数と10倍した数の位の並びを比べてまとめる。					
	5 適用・発展問題に取り組む ・練習問題に取り組む。 ・答え合わせをする。	適用・発展		適用・発展		
・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。	6 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	適用・発展			6 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。

第13時 / 15時

- (1) 目標
- ・整数を100倍した数、10でわった数の表し方を理解する。
- (2) 主な具体の評価規準【知識・理解】
- A...100倍した数はもとの数に0を2こつけた数になること、10でわった数はもとの数の一の位の0をとった数になることに気づき、理解している。
- B...100倍した数はもとの数に0を2こつけた数になること、10でわった数はもとの数の一の位の0をとった数になることを理解している。
- C...位取り表を使い、位の並びに着目させて理解させる。
- (3) 展開

第13時 / 15時

- (1) 目標
- ・操作的な活動や考察などをとおして学習内容の理解を深め、わり算についての興味を広げる。
- (2) 主な具体の評価規準【関心・意欲・態度】
- A...除法の性質から、各国の筆算のアルゴリズムを見つけ計算してみようとする。また、自分から進んで問題作りをしようとする。
- B...除法の性質から、各国の筆算のアルゴリズムを見つけ計算してみようとする。
- C...今までに習った筆算のアルゴリズムをもとに各国の筆算のアルゴリズムに気づかせるようにする。
- (3) 展開

留意点	学習活動	過程	形態	過程	学習活動	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日の復習の25の10倍した数を考える。 1 学習課題の設定 ・25の100倍した数を考えることを伝え課題を設定する。 	課題把握		課題把握	1 学習課題の設定 ・〔やってみよう〕世界の国々のわり算の筆算のしかたを比べる活動に取り組み、課題を設定する。	
	25の100倍はいくつになるか考えよう				世界のわり算の筆算に取り組もう	
<ul style="list-style-type: none"> ・100倍の意味がとらえられない場合10倍の10倍ということから見通しをもたせる。 ・手引の活用について触れる。 	3 解決方法を見通す ・100倍の意味について確認する ・位取り表を使い、位の並びに着目させて見通しをさせる。 4 自力解決する ・25の100倍に取り組む。(個別指導) 4 解決方法の検討をする チェンジスクラム オールスクラム 5 学習のまとめをする ・25の100倍について数の並びを位取り表でまとめる。 ・200を10でわった数を考える。 ・もとの数と10でわった数の位の並びをまとめる。	見通し		見通し	3 解決方法を見通す ・2つのグループに分かれたどの国の計算に取り組むか決める。 4 自力解決する ・グループごとに筆算に取り組む、発表の練習をする。(個別指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の筆算のプリントを準備する。
	4 解決方法の検討をする チェンジスクラム オールスクラム 5 学習のまとめをする ・25の100倍について数の並びを位取り表でまとめる。 ・200を10でわった数を考える。 ・もとの数と10でわった数の位の並びをまとめる。	自力解決		自力解決	4 解決方法の検討をする ・それぞれの国のひっ算のしかたについてグループ以外の人に発表する。 5 学習のまとめをする ・各国の筆算方法について確認する。 6 適用・発展問題に取り組む ・自分好きな国の筆算で問題を作り、問題を交換して取り組み、答え合わせをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の筆算のプリントを用意して数字を書き込むだけで問題が作れるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。 	6 適用・発展問題に取り組む ・練習問題に取り組む。 ・答え合わせをする。 7 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	適用・発展		適用・発展	7 学習を振り返る ・学習感想を書いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・両学年の感想を聞き、今後の参考にするとともに、共に学んだ一体感をもたせる。

スクラム学習マニュアル1

チェンジスクラムやオールスクラムの発表の時に使いましょう。

1 自分の考えを伝えるとき

相手に伝えるためのじゅんぴのポイント

- ・ 絵、図、線分図、数直線、表などを使って分かりやすくまとめる。
- ・ 色分けしてわかりやすくかく。
- ・ 前に見つけた考え方を使ってわかりやすくする。
- ・ かんたんな数などにかえてわかりやすくする。

もし、と中までしか考えられないときはつぎのことに気をつけよう。

- ・ 自分は何(絵、図、計算など)に取り組んでいるかはっきりさせよう。
- ・ どこまで分かって、どこからわからないか考えておこう。

2 自分の考えを伝えるときのポイント

- ・ はじめに、何を使って考えたか話そう。(算、絵、図、線分図、数直線、表など)
- ・ 伝える時には、「ここまでいいですか」など、相手にたしかめながら話そう。
- ・ 話すだけではなく、矢じるしをかきいれたり、色をぬったりして説明する。物は動かしながら説明する。
- ・ など、伝えるくふうをしよう。
- ・ 質問に答えたり、気がついたことをつけたしたりしながら話し合おう。

3 相手の考えを聞くとき

ポイント1 (相手の考えをしっかりと聞きかめよう)

- ・ 話す人がどんな方法で考えたのかたしかめよう。(算、絵、図など)
- ・ 自分の方法と同じところや、ちがうところを見つけよう。
- ・ 聞きながら、分かったときにはうなずいたり、あいずちを打ったりして相手に自分が分かったことを伝えよう。
- ・ 自分と同じ考えのときには「~のところと同じです」と発言したり、わからないことは質問したりしよう。

4 相手の考えを聞くときのポイント

- ・ 聞きながらわかったことは、「だよね」「ということですね」など、相手にたしかめよう。
- ・ 自分の方法と相手の方法のどこが同じで、どこがちがうかみつけよう。方法がちがっても同じところや、方法が同じでもちがうところがあるかもしれないよ。
- ・ 気づいたことや考えたことをメモをして置いて、質問したり、発表しよう。
- ・ 聞いて終わりではなく、質問をしたり、聞いて見つけたことや考えたことを発表したりして話し合おう。

5 伝え合うときに気をつけよう

- ・ 話して終わり、聞いて終わりにならないように、質問したり、気がついたことを発表したりする。考えの良いところ、もっとこうすると良いと思うところを話したり、考えたりしよう。
- ・ 自分が気づいたこと、考えたことがあったら、どんどん伝えてみんなで考えていこう。
- ・ 課題(問題)の中心にそって話したり、考えたりしよう。
- ・ だれと話し合っ、何が分かったかメモを書いておこう。

スクラム学習マニュアル2

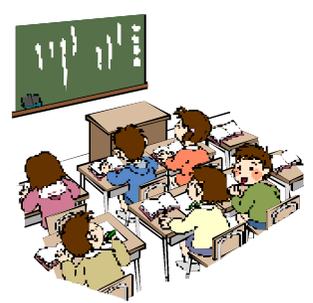
オールスクラムの時に使いましょう。

6 今日の話合いのポイントは

何について話し合うか内容とポイントを確認しよう

自分の考えを発表し、みんなの発表を聞こう

考えの良さを見つけて話し合おう



スクラム学習マニュアル1を使い、相手に分かりやすいように自分の考えを伝えたり、相手の考え方をくわしく聞こう。

7 まず、自分の方法とくらべてみよう。

- ・ 同じところや、違うところを見つけよう
- ・ それぞれの方法にはどんな良さがあるかな。
- ・ かんたんにできる。 ・ せいかくにできる。
- ・ はやくできる。 ・ わかりやすい。 など
- ・ かき方や発表の仕方などの表現のしかたの良さもあるよね。
- ・ と中の方法にも良さがかかっているかもしれないね。
- ・ 見つけたら「良さ発見カード」に書こう。
- ・ **どの方法が課題の解決がしやすいか話し合おう。**
- ・ どの方法がかんたんに、はやく、せいかくにできるかな。
- ・ どんな数でも使える、いつでも使える考えはないかな。
- ・ 1つの方法だけではなく、組み合わせて良い考えになることもあるよ。
- ・ それぞれの考えをまとめることはできないかな。
- ・ 絵や図を式にできないかな。
- ・ きまり(公式)を見つけよう。

8 気をつけよう

- ・ 話し合うときは、課題になっていることがはっきりするように、「今日の話合いのポイント」に気をつけて話し合おう。